

## 【会議録】

主 題 令和7年度第2回つくばみらい市地域公共交通会議

- 日 時：令和7年8月29日（金） 午後2時～午後3時10分
- 場 所：つくばみらい市役所谷和原庁舎 2階 第1・2会議室
- 出席委員：秋山義継会長、古谷隆夫副会長、廣瀬貢司委員（代理：野村洋介氏）、富山和之委員、芳賀義明委員、古賀重徳委員、小菅達也委員、伊藤豪人委員、飯島宣昭委員、八木岡道孝委員、荒井栄司委員、島崎邦雄委員、豊島美智子委員、前嶋一也委員、笠川輝章委員、神達隆樹委員、細谷知英委員 以上 17名
- 欠席委員：小川一成委員、服部透委員、柿本憲治委員、山野井周一委員、蛇原規行委員、中村大地委員 以上 6名
- 事務局：都市計画課 野口課長、笠見課長補佐、島田主査、小松主事、中島主事
- 傍聴人：なし

### ●次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議題
  - 協議事項
    - (1) 病院バスについて
  - 報告事項
    - (1) 特定所管事務調査について
- 4 その他
- 5 閉会

### ●会議要旨

#### 議題

##### 協議事項

- (1) 病院バスについて  
病院バスの運行についてこれまでの経過と今後の運行形態（案）について説明した。

##### 報告事項

- (1) 特定所管事務調査について  
特定所管事務調査「公共交通の在り方について」の提言に対し、取組状況や今後の対応について報告した。

### ●会議録

- 1 開会（午後2時）

- 2 会長挨拶

- 3 議題

##### 協議事項

- (1) 病院バスについて  
病院バスの運行についてこれまでの経過と今後の運行形態（案）について説明した。

### 【質疑等】

委員意見：筑波学園病院とJAとりで総合医療センターは病院バス、総合守谷第一病院ときぬ医師会病院はコミュニティバスでの運行となっているが、現状で何か違いはあるか。

病院バスは通院専用だが、コミュニティバスは一般の利用者と一緒に乗降すると思うが、コミュニティバスだと利用者が少なく、病院バスは利用者が多いといった特徴があれば教えていただきたい。

事務局：ルート全体では、コミュニティバスの方が利用者は多い。コミュニティバス

の場合、ルート途中でも乗降が可能だが、病院バスは、病院でしか降りられず、目的地が限定されてしまうため、利用者は伸び悩んでいる。

委員意見：病院バスは最初から最後まで目的地が一緒だからいいと思うが、コミュニティバスは複数箇所で停車することで（移動に時間がかかる）困るという意見もあるのか。

事務局：こちらにはそのような意見は上がってきていない。コミュニティバスで病院に向かう途中で停車することについては、特に問題ではないと認識している。

委員意見：病院に行く方と一般の利用者の方と一緒に乗車させたほうが、効率的で利用者も増えると思う。

委員意見：病院バスの運行を開始するにあたり、平成30年頃に各病院に対して、市内のどの辺りの方が通院されているのかについて聞き取りをしたと聞いている。  
それから約7～8年経過し、通院している方も病院の先生も変わっていると思う。良い先生がいれば、少し遠くても通院する方もいる。

個人情報の提供が難しい時代になってきているため、各病院からどのくらいの協力をいただけるかはわからないが、各病院に対して調査等の考えはあるか。

事務局：通院者数については、各病院に対して個別に照会をかけ、その回答をまとめている状態である。作業中のため、ある程度数字がまとまり次第、会議でお出しできればと考えている。

委員意見：それは、利用者数だけでなく、どの辺りの地区から通院しているのかということも含めた照会になるのか。

事務局：個人情報の関係もあるので、各病院と調整して郵便番号単位での照会を依頼している。また、生年月日は個人情報が特定されてしまうため、令和6年4月時点の年齢と性別データの提供をいただいている病院もある。現在、相手方でデータを作成中につき、まだ回答をもらえていないところもあるので、まとまり次第、情報を提供できればと考えている。

委員意見：今回の会議で具体的な問題点を洗い出し、それを踏まえて、今後どのような形で進めていくかということが今後のためになっていくと思う。

まずは、この問題点を整理するということになるが、問題点は全部で4点ある。

1点目は、「予算と運行事業者の事情」、2点目は「運転者不足、既存バス・タクシー会社への収益の配慮」、3点目は、「利便向上」、4点目は「既存鉄道路線との結節点」である。

続いて、これらをどのように整理していくかというところになってくるが、一番わかりやすいのは、定量的な形で整理することである。定量的な整理は難しいところがあるが、定量的に判断する際には、各地域の人口密度であるとか、利用者がどれくらいいるか、現行路線と住民の影響がどれくらいかというところを比較したうえで、路線を組み替えるといったところが必要になってくると思う。色々な手法があるとは思うが、携帯の利用者状況の調査等の人流データを駆使して使うとなると費用的かかるということもあるので、定量的な調査としては、やはりアンケート調査が一番良いと考えている。

今回のケースに関しては、病院バスがターゲットになっているので、病院の利用者からのデータ収集や、地域毎にアンケートを進め、どのように進めていくべきなのか、数値化されたデータがあるとよりまとまってくると思う。

また、路線をどのように整理していくのかという点については、交通会議には、住民代表の方々も出席されているため、部会のようなものを新たに作り、そこで協議をしていただくのも1つである。

例えば、部会で意見を集約して、いくつかたたき台を作成していただき、この会議で整えていくようなスキームもあるかと思う。あくまでも1つの案なので、そのような進め方も検討していただき、市の方向性を決めていただいた上で、再度この会議で病院バスの運行形態の変更について協議していくことも1つだと思う。

会長：委員の意見を参考にして、各地域の実情の把握に向けたアンケート調査を行い、定量的なデータを提示していただき、再度委員からご意見いただく形で

進めていただきたい。

個人的には、特定の目的でバスを運行するよりも複数の目的が満たされていくことが理想的であると考えている。特定の目的のバスだと「こここの場所に行くためには使えるが、別の場所への移動には使えない」という問題も出てくるので、様々なデータを収集しながら検討を進めていただきたい。

この議論は、実際にやってみて、悪いところは修正し、良いところは継続していくということをやらざるを得ない。これが建設的に問題を解決する一般的な方法だと思う。特にバス等の公共交通機関の検討は、それらを繰り返しながら、様子を見て進めていくことも必要だと思う。

委員意見：他の委員からの意見もあったように、まずは利用者のニーズを把握したうえで市としての検討の優先順位的なものや、利用者に対しては、「いくらまでであれば、病院バスを利用するか」といったようなできるだけきめ細やかなアンケートをお示しいただいたほうが、委員からの意見も収集しやすいと思う。

#### 報告事項

##### (1) 特定所管事務調査について

特定所管事務調査「公共交通の在り方について」の提言に対し、取組状況や今後の対応について、概要を報告した。

#### 【質疑等】

委員意見：提言2の中で「グリーンスローモビリティの導入」について、今後の交通網の発展に寄与するという観点から提言に記載していただいたことについては理解できる。県内では、日立市が自動運転バスの実証運行を行っているが、関東運輸支局もこの事業に参加させていただいている。現時点では、中型バスが運転手不足の解消に繋がるという考えが一番鍵になってくると思う。

グリーンスローモビリティについては、関東運輸支局の考え方としては観光施策に近いようなものだと認識している。

現時点では、境町でも自動運転バスが実証運行されているが、数キロ程度の距離を運行しているものなので、それが本来の市の目指している公共交通かというところは、個人として疑問に思うところもある。自動運転バスのイメージは、誰も運転手がいなくて運行されるものだと思うので、導入にあたっては、ターゲットを絞ったほうがいいと思う。

このほか、自動運転については、筑波大学構内での運行や千葉県柏市の事例がある。全国的には、福井県の永平寺の事例もあるが、最近は運行が止まってしまっているので、実態として参考になるのは、日立市の自動運転バスが各自治体の目指しているイメージに近いと思う。

続いて、国の補助金の紹介になるが、提言5のライドシェアの部分については、つくば市・土浦市・下妻市・牛久市で公共ライドシェアが運行されている。また、10月1日から常陸大宮市で自治体主体のライドシェアが導入されるという申請が関東運輸局に上がってきている。また、城里町でも高齢化を対象としたライドシェアや笠間市も導入を進めている事例もある。

笠間市や常陸大宮市の事例では、国から結構な額の補助金が出ており、数千万規模の補助金が出ているケースもある。ライドシェアを導入するにあたっては、そういう補助金を活用していただくと市の財政負担の軽減になるのではないかと思う。関東運輸局から情報提供があったと思うが、現時点では、3回目の募集が行われており、以降3年間は補助金が定期的に出ると思うので、これを活用した形でライドシェア導入について検討していただければと思う。

ライドシェアの導入にあたっては、地元の事業者に対する配慮が必要であり、結果的に運行事業者の収入が下がってしまうという懸念もあるので、その辺りについては、先に導入している自治体の情報を収集していただくよいと思う。

4 その他

- ・令和7年度第3回つくばみらい市地域公共交通会議の開催について  
事務局から、次回会議について説明した。(開催時期未定)

5 閉会（午後3時10分）

●配布資料

【資料1-1】【資料1-2】 病院バスについて

【資料2】 特定所管事務調査について

【参考資料】 ①～⑤